

# 四国中央スポーツたより

## 第19号

令和6年11月1日

### CONTENTS

P2: 第11回しこちゅ〜スポーツフォトコンテスト  
2024結果発表、作品集

P3: 加盟団体の紹介  
◎相撲協会  
◎バレーボール協会

P4: 四国中央市発足20周年記念イベント  
◎阿部 詩選手 トークショー&柔道教室

P5: ◎SHIKOCHU CUP  
◎愛媛マンダリンパイレーツ20年目記念イベント

P6: スポーツ指導者講習会  
「セルフコンディショニングの意義と方法について」  
誰もが楽しめるニュースポーツ「ポッチャ」

P7: 第51回日独スポーツ少年団同時交流  
職員紹介

P8: 申込受付中イベント  
◎四国中央市綱引大会  
◎やまじっこマラソン大会

■伊予三島運動公園体育館  
TEL (0896) 28-6071 FAX28-6105

■川之江体育館  
TEL (0896) 28-6255 FAX28-6193

■発行／公益財団法人  
四国中央市  
スポーツ協会

■編集／広報委員会



「第11回 しこちゅ〜スポーツフォトコンテスト2024」大賞作品  
撮影者: 村上 智子 さん



四国中央市マスコットキャラクター  
「しこちゅ〜」  
四国中央市利用料別定額第5号

# 第11回しこちゅ〜スポーツフォトコンテスト2024結果発表!

## ■大賞 「登山は自分自身と戦うスポーツ」 ※表紙 撮影者：村上 智子さん

今回、登山をテーマに選んだのは、四国中央市に登山できる山（登山道のある山）が20座あります。こういった山々が整備され、アクティビティになれば、市民の楽しみが増えるばかりか、市外からも人を呼べる観光資源となり得るからです。さらに、登山リュックの中身は、ほぼ防災リュックの中身と同じなので、登山愛好者が増えることで、家庭に備わる防災リュックも増えていく。そのことが、来るべき南海トラフへの備えにつながると思い普及活動に力を入れているところです。そんな折に、普及活動の大きな追い風となる、このような賞をいただき大変うれしく思いました。これを励みに、益々、活動に力を入れていきたいと思っています。

## ■スポーツ協会賞 未来の壁を越えろ!! 撮影者：石川 梓さん



## ■入選



「みんなの想いを背負って…いざ!!」  
撮影者：立川 哲太さん

## ■入選



## ■入選



「優しいまなざしの2人」  
撮影者：大西 規味子さん

「ラストスパート!!」  
撮影者：高須賀 いづみさん



「喜び」



「仲間と共に」



「いけー!!」

入賞された皆様おめでとうございます。ご応募いただいた皆様ありがとうございました。  
応募多数のため、今回は審査委員より選出された作品を掲載しております。

次年度も『しこちゅ〜スポーツフォトコンテスト』開催予定です! スポーツに関する自慢の作品をお待ちしております。お気軽にご応募ください。スマートフォンからの応募も可能です。

※詳しくは、スポーツ協会ホームページ、市内体育施設のポスター及び募集要項をご覧ください。

## 加盟団体の紹介

四国中央市スポーツ協会には、市内計44の団体が加盟しています。各団体では、日々、競技振興や市民のスポーツ振興のための様々な活動を行っています。今回は、その中の2団体を紹介します。

### 相撲協会

#### 協会の紹介

戦後に相撲愛好家が集まり草相撲奉納相撲をとっていたのが始まりで、昭和39年に三島相撲協会として発足し、その後、伊予三島市相撲協会、平成16年に四国中央市相撲協会へと名称変更して現在に至ります。



#### ●こんなことやっています！

年に2回、4/29に三島神社の常設土俵で春季こども相撲大会(春日神社奉納相撲)、10月の第1日曜日に秋季子ども相撲大会(市民スポーツ祭)の開催や審判講習会を行っています。



#### ●協会の自慢

昭和、平成、令和と時代は移り行きますが、相撲という日本古来のスポーツを通じ礼節、挨拶の大切さ、相撲の基本技能を子どもたちに身につけてもらえるよう頑張っています。

#### ●PR

春と秋に年2回相撲大会を開催していますので、相撲を取ったことがない子どもさんも大歓迎です。小学生・幼児のみならず、友だちも誘って相撲大会に参加してみてね。小学生・事前に学校に申込書を配布します。幼児・当日参加受付です。(1〜3位表彰・参加賞あり・参加費無料・一日スポーツ保険加入済)



#### ●お問合せ

宮崎 周一郎  
☎090-7626-6226

## バレーボール協会

#### 協会の紹介

市町村合併を機に、川之江・伊予三島・土居のバレーボール協会が合併し、四国中央市バレーボール協会となりました。当協会には、小学生の部・中学生の部(男子・女子)・高校生の部(男子・女子)及び一般の部(男子・女子)を合わせ、27の団体(令和5年度)が登録しています。



#### ●こんなことやっています！

《市民スポーツ祭》では、小中高及び一般が同じ会場で試合を行い、先輩後輩がバレーボールをする姿を見て学び楽しんでいきます。一般のチームと若い高校生との試合も面白いですよ。また、《かみのまち杯》や《東予フェスティバル大会》等も開催され、それぞれのカテゴリーでバレーボールを通じて多くのチームと交流しています。その他、各カテゴリーにて種々の大会を開催しています。

#### ●協会の自慢

1973年に東京で開催された第3回全日本中学校バレーボール選手権大会(男子)では、三島東中学校男子バレー部が優勝しました。三島東中を全国大会優勝へと導いた当時の顧問伊賀上殖先生の功績を称え、《伊賀上杯中

学生バレーボール大会》という招待試合を毎年開催しております。

2014年から放送された「ハイキュー!!」というバレーボールのアニメが有名ですが、「サインはV」というテレビドラマや、「アタックNo.1」というアニメがありました。「アタックNo.1」は、2005年に上戸彩主演のテレビドラマにもなりました。「ハイキュー!!」の映画化、パリオリンピックでバレーボールの試合が放送され、選手たちの活躍などもあり、バレーボールをしてみたいという人が増えているようです。

いつの時代もバレーボールは注目のスポーツです。

#### ●PR

バレーボールは何歳からでも始められます。

直接見学や入部をすることもできますが、事務局へお問い合わせ頂いても結構です。

未経験の方、大歓迎！一緒にバレーボールをしてみませんか？

#### ●お問合せ

細川 将史  
☎090-6289-4299



# 市発足20周年記念事業



The Best Paper City  
感謝、そして未来へ  
四国中央市発足20周年

## 阿部 詩選手 トークショー&柔道教室

四国中央市発足20周年を記念し、アスリートとの触れ合いやトークショーを通じて、市内の子どもたちに夢や希望を与えることができる場を提供できるよう企画しました。当市において子どもから成人まで活動的に取り組んでいる柔道。今年の夏は、パリオリンピックの開催もあり柔道に注目された方も多かったのではないのでしょうか。今回はオリンピック2大会連続出場の阿部詩選手（パーク24）にお越しいただき、トークショー及び柔道教室を開催しました。

トークショーでは、市職員でリオオリンピック バasketボール選手として出場経験のある近藤楓さんが司会を、柔道を通じて阿部詩選手と親交のあるスポーツ協会職員の立川莉奈がトークショーの相手を務めました。柔道をしている市内の子どもたちからの質問コーナーもあり、阿部詩選手の言葉で答えていただきました。いくつかの質問をご紹介します。



**Q: 幼いころから継続して努力していることを教えてください。**

**A:** トレーニングや体幹、柔道の1人練習です。これを始めたばかりの中学1年生の頃は、これをやって何の意味があるのだろうと思っていました。でも6年間、毎日毎日やり続けることによって、体の力が強くなりました。寝技の補強という、地味でしんどくて楽しく感じないような練習に耐え、精神面でも強くなりました。「どうしてこんな練習しないといけないの?」と疑問に思うこともあります。「この練習をするとこんな風に強くなるんだ」と練習の意味を考えると強くなれると思うので、地味な練習も頑張っしてほしいと思います。

**Q: 柔道の良いところを教えてください。**

**A:** 礼に始まり礼に終わる。皆さん知っている言葉だと思いますが、相手にリスペクトを持って柔道をするのが1番大事。それがまた、柔道の素敵なおとこだなと思います。目の前の相手に感謝の気持ちをもちながらというのは、難しいことかもしれませんが、相手がいないとできない競技なので、礼に始まり礼に終わるというリスペクトを持って取り組むべき競技なのではないかなと考えています。

**Q: 毎日していることはなんですか。**

**A:** 夜寝る前のストレッチ。次の日に繋がるような行動をするということを心がけています。寝る前に自分の体の状態を知ることが大事なので、しっかり毎日同じルーティンをこなして、今はここが良くないんだなという問題点に気づくことができれば、次の日に修正ができると思います。寝る前のストレッチは、みなさんにおすすめです。おうちのかたと一緒にやってみてください。

**Q: 試合前に必ずすることはありますか。**

**A:** バナナ柄の靴下を履いています。初めて日本一になった高校1年生の時、その靴下を履いていて、縁起が良いなと思い、そこから8年間くらい履き続けています。

**Q: スポーツ選手である兄の一二三選手はどのような存在ですか。**

**A:** 常に私を引っ張ってくれる存在で、この間の大会も私は負けてしまったのですが、それでも兄は優勝してくる。心強く、本当に尊敬できる兄です。

**Q: 試合の時、どういう思いで畳に上がるのですか。**

**A:** 試合の時は『絶対に勝ってやる!』という気持ち。あとは、自分を信じる。それしかできないので、今までやってきたことを全て信じて畳に上がります。

**Q: 柔道を今まで続けることができたのはなぜですか。**

**A:** 柔道を続けることができたのは、自分自身が強くなりたい気持ちと、あとは家族、お父さん、お母さん、兄、たくさんの人に支えてもらって、今、私は柔道着を着ることができていると思うので、お父さんとお母さんのおかげかなと。みんなパパとママに感謝して柔道が続けてください。

**Q: アスリートとしてどんな気持ちを大切にしていますか。**

**A:** 自分1人の力では聞えないので、たくさんの方の応援だったり、普段から支えてくれる人があってこそなので、その人たちに感謝の気持ちを忘れないということ私はずっとずっと大切にしています。だから『ありがとう』という言葉を大事にしています。

**Q: 詩選手にとって柔道とは。**

**A:** 深いな…私自身、今ここにいられるのは柔道という競技に巡り合ったおかげであり、これからも私が生きていく道に柔道というものは欠かせないもの、自分の人生そのものなのかなと思います。この柔道というものに私のすべてが詰まっているのかなと感じています。柔道という競技と共に素晴らしい人生を歩みたいなと思っております。

イベント後半は、柔道教室を行いました。

はじめに阿部詩選手に、得意技の袖釣込腰を披露してもらい、観客席からは盛大な拍手が沸き起こりました。その後、子どもたちに大外刈りを指導していただきました。技に入るときポイントやコツ等の詳しい説明を聞いて、子どもたちも打ち込みをする際に意識して技に入りました。

技の指導後は、道着を着ての練習は久しぶりの阿部

詩選手に森和輝さん(パーク24)、立川桃選手(ALSOK)、立川(スポーツ協会)が加わり、それぞれ10人の子どもと1分間ずつ乱取りを行いました。

多くの質問にも丁寧に答えてくださった阿部詩選手。阿部詩選手が柔道に取り組む姿も見ることができ、子どもたちや観客の方たちも大変喜んでいました。憧れの阿部詩選手との柔道経験は、子どもたちにとって大切な宝物になったことでしょう。





# SHIKOCHU CUP 市バスケットボール協会20周年事業

## 福岡第一高等学校 VS 尽誠学園高等学校

市発足20周年・市バスケットボール協会20周年の記念事業として、そしてさらなるバスケットボールの振興を図るために企画された『SHIKOCHU CUP』が、4月13日に伊予三島運動公園体育館にて開催されました。

インターハイ、ウィンターカップ合わせて8度の全国制覇を誇る福岡第一高等学校と、6年連続インターハイ出場という香川県の強豪、尽誠学園高等学校の対決ということで、約2,500名の来場者があり、体育館周辺には多くのキッチンカーが並ぶなど、試合前から盛り上がりを見せました。

試合では、福岡第一高等学校のチームカラーである緑と、尽誠学園高等学校のチームカラーである水色のTシャツを身につけたブースターがコートに声援を送り、スラムダンクをマンガで読んだ世代・映画で観た人、ワールドカップやオリンピックを見てファンになった人など、幅広い年代の人々が選手の勇姿に声援を送りました。

熱いファンが見守る中、勝利したのは、福岡第一高等学校。両校のハイレベルな一戦に目を輝かせていたちびっ子や市内のバスケットボール選手・指導者、そしてファンに向けてのお言葉をいただきました。



### 福岡第一高等学校 井手口監督

#### Q:SHIKOCHU CUPの感想

多くの招待試合に参加させていただいておりますが、我々にとりましてSHIKOCHU CUPは、今までで一番思い出深い大会でした。会場準備、食事のお世話、送迎など、全てにおいて心遣いや優しさが溢れていました。会場に展示されていた、書道の作品も圧巻でした。後日、三島高等学校の皆さんが本校用に書いていただいた作品を送っていただき、感動が蘇りました。

#### Q:四国中央市でバスケットボールをしている子供たちに、メッセージをお願いします。

昨年は中学生を中心にクリニックをさせていただき、今年は尽誠学園高等学校とのゲームを見ていただきました。皆さんの一生懸命な眼差しが心に残っています。バスケットボールをさらに好きになっていただけたら幸いです。また伺う機会がありましたら、よろしくお願いたします。福岡も良いところですので、是非来られてください。福岡第一高等学校は、練習参加、見学も大歓迎ですので、チームであるいは個人、グループでも構いません。どうぞ遠慮なくご連絡ください。

#### Q:指導していく上で、一番大切にしていること

入部した生徒を辞めさせない事です。残念ながら今年は、数名の退部者が出てしまいました。当たり前のことですが、手を抜かない事です。生徒たちが「今日もよく頑張った」「明日も頑張ろう」という気持ちにして家や寮に帰すことです。



市バスケットボール協会  
会長 大尾 浩二

昨年の11月に中学校の先生方中心で福岡第一高等学校の井手口先生によるクリニックをしていただきました。その縁もあり井手口先生より四国中央市バスケットボール協会の発展になればという有難いお言葉を頂き、市発足20周年記念事業の一環として全国高校トップレベルの試合を開催することができました。県内外からもたくさんの方に足を運んでいただき大盛況に終わったのではないかと思います。また、人の繋がりの大切さも再認識できた良い事業でありました。

今後の四国中央市バスケットボール協会の発展もそうですが、四国中央市の各種スポーツ団体、スポーツ全般の発展に向けて今後も尽力してまいります。

最後に、記念事業開催にあたり多くの方々にご協力いただきました事を御礼申し上げます。ありがとうございました。



## 愛媛マンダリンパイレーツ20年目記念イベント

6月15日、伊予三島運動公園野球場に約600人が来場し、四国中央市発足20周年と愛媛マンダリンパイレーツ20年目のシーズンを記念した、『20周年記念イベント』が開催されました。

記念試合は、スポーツ少年団・三島地区中学校と土居中学校の野球部員が1打席ずつ打席に立ち、守るマンダリンパイレーツから何得点できるか、という特別ルールで行われ、17得点を獲得しました。今回の記念試合では、大型スクリーンに打者の名前を表示。子ども達や保護者にとっても、記憶に残る試合になったと思います。

その後は、令和3年度全国大会出場的一般軟式野球チーム「TORABY (トラビー)」と、マンダリンパイレーツとの3イニング(真剣)勝負。3回表まで両チーム無得点の緊迫した状況を打ち破ったのは、マンダリンパイレーツ。サヨナラ勝ちで試合終了となりました。

イベントの最後には小学生とマンダリンパイレーツ選手との鬼ごっこが行われました。選手の腰に付いているタグを取れば、サインボールやタオルなどがプレゼントされるということもあり、子どもたちは元気いっぱい走り回っていました。

20周年記念として開催された今回のイベント。プロの野球選手と触れ合うことができ、記憶に残るイベントになったと思います。

TORABY (トラビー) の選手に感想をいただいております。



### 尾崎 亨四郎 キャプテン

体の大きさ、しなやかさ、体幹の強さなど、すべてにおいてレベルの高さ、そしてプロとの違いを感じた試合でもありました。また、観客の子どもたちの「頑張れ」という応援、やはり応援には力が湧きました。マンダリンパイレーツの皆様、貴重な時間、体験をありがとうございました。



### 酒井 大輝 投手

レベルの高さをすごく感じました。各バッターは、しっかりとスイングをして、追い込んでも簡単にはアウトにはならない、しんどいピッチングでした。チャンスの場面では、しっかりと結果を残す所が、さすがプロだなと思いました。

また、地域の為に盛り上げていただいた各選手たちのプロの活動を目の当たりにして、マンダリンパイレーツのファンになりました。子どもたちからの応援や実況など、なかなか体験する事のない貴重な時間を頂き、幸せな時間を過ごすことができました。

# 『セルフコンディショニングの意義と方法について』

## スポーツ指導者講習会

6月19日、伊予三島運動公園体育館メインアリーナにて、スポーツ指導者講習会を開催しました。今回は、有限会社ASRE代表取締役の島崎勝行先生をお招きし、『セルフコンディショニングの意義と方法について』と題した講習を行っていただきました。

セルフコンディショニングとは、自身 (self) の体の状態 (condition) を目的や目標に合わせ、整え、調整していく (ing) ことです。本講習会では、セルフコンディショニングとして『体を動かす前の準備』(以下『準備』とする) について、実際に体を動かしながら体幹と柔軟を重点的にご指導いただきました。

島崎先生は、2008年にスノーボード競技ハーフパイプ青野怜選手(愛媛県出身)の専属トレーナーとして、オリンピックなどに帯同しており、ウィンタースポーツでは試合会場に行く前のホテルやレストハウスなどでも行うぐらい『準備』が重要だとお話されていました。この『準備』をすることにより、胸や背中周りの可動域が広がり、下半身の力が入りやすくなります。効果的な『準備』には、正確に動作を行うだけでなく、内容・目的を理解したうえで、意識しながら行うことが重要とのこと。また、その意識を高めるためには、目標を明確にすることが大切と、お話をされました。

この講習会で、さまざまな『準備』の方法を学ばせていただき、参加者の皆さんは実際に自分自身の体を動かすことによって、『体を動かす前の準備』の大切さを感じることができたのではないのでしょうか。アスリートでなくても、体に違和感はないか、呼吸はどうか、左右のバランスは…など、体の声に耳を傾け、自分の体の状態を知ることから1日を始めてみませんか。



誰もが楽しめるニュースポーツ

## 「ボッチャ」

ヨーロッパ生まれの、パラリンピック正式種目で年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツです。

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。



### ルール(大事なポイント)

- ① ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに近い方が勝ち
- ② 遠い方が投げる
- ③ 相手より白ボールに近い球の数がそのまま得点となる。2個近いなら2点。3個近いなら3点。

覚えるべきポイントはこれだけでOKです。ルールが簡単!それがボッチャの魅力の一つでもあります。しかし、ただ的に寄せるだけでなく、相手のボールをはじいたり、壁を作ったりなど、6球をどう投げて配置するかという頭脳戦を楽しむのも魅力の一つです。



中曽根公民館 / 三世代交流会

### 試合の流れ

- ① 先攻・後攻を決める
- ② 先攻のチームがジャックボールを投げる
- ③ 先攻のチームが続けて自分のカラーボールを投げる
- ④ 後攻のチームが自分のカラーボールを投げる
- ⑤ ジャックボールから遠いチームが、相手より近づくか、またはボールが無くなるまで投げる
- ⑥ 両チームが6球全て投げ終わったら審判が得点を判定する(エンド終了)
- ⑦ 前のエンドで後攻だった側が先攻となり、②から⑦を繰り返す



下記にて  
物品の貸出し可能です。  
(団体・サークル対象)

- ・中曽根公民館
- ・四国中央市社会福祉協議会  
↑HPにて詳細をご確認ください。

※詳しいルールなどについては、「かんたんボッチャガイド」をご参照ください。



# 第51回日独スポーツ少年団同時交流



7月26日～28日の3日間、ドイツ・ラインラント＝プファルツ州の16歳から19歳の柔術を専門とするメンバー8名と指導者が四国中央市を訪れ、『第51回日独スポーツ少年団同時交流』が行われました。四国中央市での交流は、今回で2回目となります。前回の交流を振り返ると、『四国中央スポーツだより第6号（平成23年）』に掲載されていました。13年ぶりとなる今回の交流の様子をお伝えします。訪れたドイツの方々、市内のスポーツ少年団やスポーツ団体、そして三島高校の生徒達とスポーツ交流や茶道などの文化体験をし、ご協力いただいたホストファミリー宅での民泊により、さらに交流を深めました。ホストファミリーとのWelcomeパーティーでは、指導者のファビアンが「13年前、僕は団員として参加し、貴重な体験をさせていただきました。今回は、指導者として再び日本を訪れることができ、そして皆さんと交流できることが嬉しいです。」と話してくれました。



ホストファミリーの中には、ドイツが好きな子、人見知りな子、言葉の不安を抱えている方もいて、皆さんがいろいろな思いで迎えていただいたことと思います。ドイツのメンバーも英語や携帯アプリの翻訳機能を駆使しながら、ドイツという国（教育事情や観光スポット）や好きなアニメの話をしたり、ドイツのゲームをしたりと、コミュニケーションをとっていたようです。また、ホストファミリーと過ごすことで、食べ物や地域のお祭りなど、日本の文化や習慣を体験したことも楽しい思い出になったのではないのでしょうか。スポーツを通じて、国際的な友好と理解を深めることを目的として行われた今回の交流。短い日程でしたが、ドイツという国に興味を持ち、いつかはドイツに行ってみたいと思える貴重な経験ができた3日間だったと思います。



私たち、スポーツ協会は、日々市民の皆様が安心して楽しく運動・スポーツができるよう取り組んでおります。



お気軽にお声かけください。  
これからもどうぞよろしくお願いいたします。

4 人の役に立てるように精進します。



1 青木 翔 アオキ リュウガ  
2 野球  
3 施設を使用してくれている市民の方々が笑顔でいられるように頑張ります。

4 2年間の臨時職員の経験を活かしつつ、気持ちを新たに頑張ります。



1 中村 凌雅 ナカムラ リョウガ  
2 やり投げ  
3 色々なことに挑戦し日々成長し続けたいです。

4 気軽に話しかけて下さると嬉しいです。よろしくお願ひします。



1 立川 莉奈 タチカワ リナ  
2 柔道  
3 勤儉力行（きんけんりんこう）・仕事に励み、つましやかにし、精一杯努力すること

1 名前 2 専門競技 3 抱負 4 一言

新入職員紹介

# イベント申し込み受付中

## 第20回四国中央市綱引大会

12月15日(日) アリーナ土居

締め切り

12/4  
(水)



今年で20回目を迎える綱引大会!

綱引は100年ほど前の1900年の第2回パリ大会から第7回アントワープ大会までの5大会で、オリンピックの正式競技でした。花形競技でもあった綱引は、今でも日本のみならず世界中で盛んに行われているスポーツです。2017年のえひめ国体では、綱引競技が四国中央市のアリーナ土居で開催されました。

綱引は英語で「tug of war」、「偉大な力と不屈の努力で引っ張る競技」という意味で、互いに綱を引っ張り合い、自分の陣地へ4m引き込んだ方が勝ち!というシンプルな競技です。審判の「pull (プル)」という「はじめ!」の合図で力と力がぶつかり合い、太いロープがミシミシと鳴る音を聞いてみたいと思いませんか?

参加したいけど見たことがない…どんなふうに引くの? そんな方は下記までご連絡ください。必勝法とまでは言えませんが、「tug of war」綱引の勝つためのコツを伝授いたします。

皆様のご参加、お待ちしております!

イベント  
情報は  
こちら!



川之江体育館 28-6255

## 第38回目を迎える 新春やまじっこマラソン大会!

令和7年1月12日(日) 関川河川敷ふるさと広場

締め切り

11/25  
(月)

### ゲストランナー



武村佳尚さん



柏原竜二さん

ゲストランナーとして四国中央市出身であり、今年の愛媛マラソン第3位の武村佳尚さんと、2009年から4年連続箱根駅伝で5区区間賞を達成した、山の神として有名な柏原竜二さんをお招きし、大会と一緒に盛り上げてくれます。

やまじっこマラソン参加ランナーには、毎年大好評の四国中央市の名産品が当たるハズレなしのお楽しみ抽選会もありますので、ぜひ景品をゲットしてくださいね

今年もテーピングブースを設けていますよ。スポーツトレーナーが膝や足首などランナーの要望に応じてテーピングを巻いてくれます。テーピングのサポートにより走りが楽になるので、不安な方はお気軽にご活用ください。また、様々なキッチンカーも出店しており、大会に彩りを添えています。ランナーの皆様は、ゴール後の栄養補給に! 観客の皆様は食事を楽しみながら応援できますよ。

気になることがあれば下記までご連絡ください。

皆様のご参加、お待ちしております!



伊予三島運動公園体育館 28-6071



テーピングブース



キッチンカー